

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

公表

○事業所名	重症児デイサービスmiagete（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R6年 10月 10日		R6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R6年 10月 11日		R6年 10月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 11月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の充実。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間で活動内容の検討とアイデアを出す時間を設けながら楽しい体験と感覚等の発達を考え行っている。</li> <li>子供たちがやり易いように試行錯誤しながら行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価しながら一人一人に合った活動の取り組み方や内容を模索しながら改善していく。</li> </ul>
2	子供の環境 大きい窓による採光や広い活動スペース、清潔で過ごしやすい環境。	<ul style="list-style-type: none"> <li>温度・湿度など常に気を配りながら過ごしやすい環境作りをしている。</li> <li>掃除や整頓、清潔な環境を常に意識している。</li> <li>死角ができないよう全体が見られるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少しでも快適に過ごせるような環境作りを今後も作っていく。</li> </ul>
3	職員間の連携による対応。	<ul style="list-style-type: none"> <li>変更や判断するときはその場ですぐに職員で話し合い進めていくことができる。</li> <li>小さな情報でも共有できるように連携している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>終礼で振り返りを行っていきより連携と情報共有がとれるようにしていく。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との交流。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の行事等へ参加などはしているが、深く交流するという部分ではまだ足りていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後地域の子供たちと交流できる場や機会を事業所主体として行えるようにしたい。</li> </ul>
2	家族支援。	<ul style="list-style-type: none"> <li>開所して日が浅く、利用する子どもの人数が少なく実施に至らなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族支援については親同士の交流する場や子供の成長や不安について情報共有していき、支援の確認と向上につなげられるようにしていきたい。</li> </ul>
3	非常時の対応等。	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時等についての対応や各マニュアルの説明が不十分だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の対応について毎年確認してもらい。また、避難訓練の様子等をInstagramと共に文書等の配布として伝えるようにしていく。</li> </ul>

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表

事業所名	重症児デイサービスmiagete (放課後等デイサービス)
------	-------------------------------

利用児童数

4

回収数

4

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3	1				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。			1	3		・どういった交流が良いのか検討し交流できる機会を作っていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		1	2		・家族で参加できる行事等を行うようにする。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2		1	1		・面談の機会を設ける。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1	3		・保護者同士で交流できる機会をつくっていく。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1		1	・避難訓練や災害の研修・勉強会などの様子をSNSやお知らせ等で積極的に伝えていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			2	・避難訓練や災害の研修・勉強会などの様子をSNSやお知らせ等で積極的に伝えていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	1		1	・安全への取り組みと計画を周知していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4				・休日しか利用できないので「後いくつ寝たらみあげて？」と楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				・お迎えの関係で今は無理ですが、いつか平日も利用できる日があればよいなど思っています。

事業所における自己評価

公表

マ 五

事業所名	重症児デイサービスmiagete (放課後等デイサービス)
------	-------------------------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・活動スペースは広く歩行可能な利用児にも十分な広さが確保されている。	・利用児童を増やす。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		・マンツーマンで対応できるような職員配置がされている。 ・休みや有給を調整してとることができている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・バリアフリー化され、安全に過ごせている。 ・1日のスケジュールが子供に分かりやすく提示されている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日の清掃、消毒を徹底し、清潔な環境が保たれている。 ・毎日の掃除とこまめな消毒が行われている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・どの部屋も利用児が自由に出入りできる。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	・業務改善についてはその都度検討し改善している。	・定期的に取り組む時間を作り積極的に取り組んでいく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・送迎時の保護者との会話の中で以降の把握に努めている。	・今から行うが、何かあれば改善していく。 ・今年度より評価が始まるため、評価できず。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・朝礼や全体会議で意見を出すこと、それをもとに業務改善ができています。	・定期的に職員との面談ができる機会があればよいと思う。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・第三者評価は受けていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・研修の機会がないわけではないが、少ないと感じる。 ・研修の機会もあり、必要に応じて関連資料の提示がされている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5		・公表用のプログラムは現在作成中。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・モニタリング、アセスメントが全職員で行われている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・モニタリング、アセスメントが全職員で行われている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・月担当を決めその人を中心に行っている。 ・全体会議で意見を出し合うことができている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・全体会議で意見を出し合うことができている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3		・振り返りが行えている日もあるが、毎日 は振り返りが行えていない。 ・終礼を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1		
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		・医ケア児は看護師が同席できるとよい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・関係者会議等で情報を共有できるよう努めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	・まだ、卒業する子はいないが、いたら情報交換をしていく。	・該当児童が不在のため。 ・該当なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		・研修等への参加と連携を図っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	・事業所としては特はない。	・平日では時間的余裕がない。 ・日時の設定からどういった交流が良いのか検討し実施する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		・実施していく。
ロ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			・説明の機会に立ち会っていない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	・子ども、親の意向はとも反映されている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		・特にない。 ・保護者及びご家族同士が交流できる機会を企画し開催していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・苦情はないがすぐに対応できる。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・インスタで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	・外部講師が月に1度来所している。	・地域に向けたイベントは特にない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		・該当児童がいないため。 ・アレルギーのある子はいないが、いたら指示書に基づいて対応する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	3	・身体拘束適正化委員会を開いている。	・意識づけがしっかりできていない。研修への参加や勉強会を行っていく。